

Sustainable Report No.159

木製バットの 原材料保護



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- 2020年度の世界の森林面積は約40億6,000万ヘクタールで陸地の31%を占める。1990年から2020年の**30年間において世界の森林面積は1億7,800万ヘクタールも減少**してる。
- 燃料確保のために行われる過剰な伐採や、**自然発火による森林火災が**、森林減少に繋がり、地球温暖化が深刻となっている。
- 人間の活動に起因する温室効果ガスである二酸化炭素排出量のうち、10%は森林の減少や土地利用の変化によるものと考えられ、**森林の破壊は地球規模の気候変動**につながっている。

■ 地域別森林減少速度

表7：1990-2020のうち4期間における地域別森林減少速度

地域	森林減少面積 [1,000 ha/年]			
	1990-2000	2000-2010	2010-2015	2015-2020
東部・南部アフリカ	1,781	2,240	2,116	2,199
北アフリカ	461	442	330	316
中・西部アフリカ	1,854	1,631	1,998	1,899
アフリカ 計	4,096	4,314	4,444	4,414
東アジア	399	353	369	170
南・東南アジア	3,689	2,232	2,460	1,958
西・中央アジア	82	99	96	107
アジア 計	4,170	2,684	2,925	2,235
ヨーロッパ 計	88	92	201	69
カリブ地域	3	2	23	5
中央アメリカ	228	222	142	168
北アメリカ	740	475	253	263
北米・中米 計	972	699	418	436
オセアニア 計	655	662	458	42
南米 計	5,837	6,667	3,354	2,953
世界	15,818	15,117	11,801	10,150

出典：林野庁

■ 森林火災



出典：農林水産省

▶ NEXT : 木製バットの再利用

■ 実行者／解決方法／残る課題

- ミズノ株式会社は、1906年に水野利八、弟利三と大阪北区で「水野兄弟商会」を創業。スポーツの力で持続可能な社会を実現することを原動力に、洋品雑貨のほかスポーツ用品などを販売。
- ミズノは、島根県の木工職人の方々とのつながりを得て、木バットの製作時に不適格材となった木材を**テーブルウエアとしてアップサイクル**することができ2022年から販売し始めた。
- アップサイクル以外に、**天王寺動物園に不適格材を300本寄贈**したり、大阪府豊中市に不適格材約200本を寄付するなどの取り組みを行っているが、まだ不適格材や廃材は廃棄されているのが現状。

■ 木バット不適格材を使ったテーブルウエア



出典：ミズノ株式会社

■ 天王寺動物園での木バット不適格材の活用



出典：美津濃株式会社

▶ NEXT : 木製バットの原材料である木を守る

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 現状、端材を再利用する事例が少なく廃棄されており、商品を作る際には新たな原材料が使用される
- 木の端材が、現在木材を使用している商品の**原材料を循環**できる状態が理想である。
- バットを製造するメーカーが技術を共有しあい商品開発するため、各メーカーの端材を取りまとめて、原材料として使用できる仕組みを作る。

■ アオダモ



出典：株式会社 大屋造園

■ 木の循環利用



出典：内閣府大臣官房政府広報室

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 林野庁, 「世界森林資源評価 (FRA) 2020メインレポート 概要」, 2024年4月3日参照 (<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/attach/pdf/index-5.pdf>)
- gooddo株式会社「森林火災とは、山や森林で広範囲にわたって発生する火災」 2022年12月22日更新 (https://gooddo.jp/magazine/climate-change/forest_fire/)
- ミズノ株式会社「木バット不適格材を使ったテーブルウエア」 2024年3月5日更新 (<https://corp.mizuno.com/jp/articles/0066>) (<https://corp.mizuno.com/jp/articles/0072>)
- 株式会社 大屋造園「アオダモ」 2019年8月13日更新 (<https://ooyazouen.com/kigi/1138.html>)
- 内閣府大臣官房政府広報室「木の循環利用」 2019年8月13日更新 (<https://www.gov-online.go.jp/article/201310/entry-8556.html>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。